



瀬谷小だより

2月号

No. 10

平成31年1月31日
横浜市立瀬谷小学校

ハーモニーで育む優しい心

副校長 西山 久美子

保健室前の梅が小さな花をつけました。寒さの中でも季節は着実に前に進んでいることを感じます。季節の変化を感じながら朝の校舎を歩いていると「レッツ サーチ フォー トゥモロー この広い世界で・・・」爽やかな歌声が聞こえてきました。1月の歌の一節です。それぞれの教室から聞こえる歌声にうっとりすると同時に、今日もいい一日になりそうだなと元気をもらいます。そして歌がもつ力を感じ、寒い朝でも校舎を回る足取りが軽くなります。

瀬谷小学校では、毎月「今月の歌」を決め、全クラスで同じ歌を練習します。そして、月末には体育館で全校児童と一緒に「今月の歌」を歌う「音楽朝会」を行っています。600人以上の声の一つになり体育館いっぱいに歌声が響くとき、なんとも言えない幸せな気持ちになります。音楽朝会は、歌うことを通して音楽の楽しさ美しさを味わいながら、みんなで歌う気持ちよさを感じる時間でもあります。歌い終わった時には、自然と笑顔になり心が温かくなります。

音楽には、心や体を元気にする大きな力があるようです。音楽でリラックスしたり、楽しい気持ちになったりすることは、経験からも分かります。音楽を聴くことで集中力が高まり作業の効率が上がることや、適したテンポの音楽を聴くと呼吸が楽になり運動がしやすくなることも知られています。また、歌を歌うことも健康効果が非常に大きいと言われています。しかし、音楽の力は自分自身の心身への健康効果だけではありません。友達と一緒に歌ったり、合奏したりする時には、友達のことを思いやったり、仲間とともに協力したりしなければ良いハーモニーは生まれません。思いやりの気持ちが育つことも音楽の力の一つと言えます。以前、プロの指揮者が「人と演奏するとき大切なことは『人へ優しく』です。」と言っているのを聞いたことがあります。音楽を聴いたり演奏したりすることは、相手の気持ちを理解したり、互いに認め合ったりすることが求められ、それは優しい心が育つことにつながるのです。瀬谷小では音楽朝会はもちろん、日ごろの音楽授業でも、友達とのハーモニーを楽しむ時間がたくさんあります。それらを通じて、これからもたくさんの美しい響きとともに、子供たちの優しい心をさらに育んでいきたいと思えます。

明日から2月。音楽室や各クラスから流れてくる音楽を聴きながら、今年度の残り2か月も、豊かな気持ちで過ごしたいと思えます。レッツ サーチ フォー トゥモロー(素晴らしい明日を探そう!)の歌のように・・・

